

—ONWARD—

2024年2月期（2023年度）
決算説明資料

23  30
ANNIVERSARY
SINCE 1993



2024年4月4日

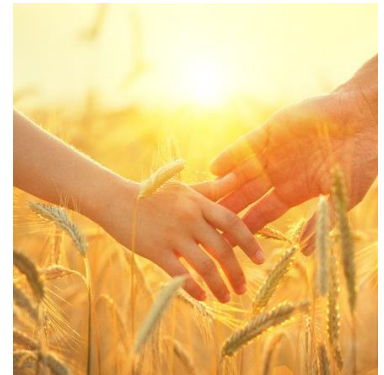
株式会社 オンワードホールディングス

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ ヒトと地球に潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により
地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』として前に進み続ける



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	4
02	2023年度 連結実績	8
03	2024年度 連結業績予想	11
04	財務状況	14
05	補足資料	17



U N F / L O

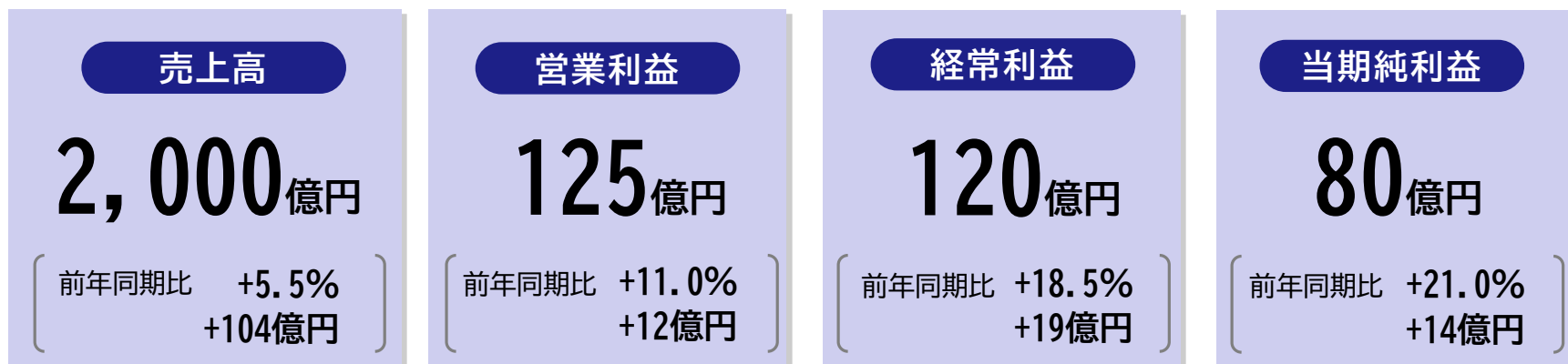
24 SPRING & SUMMER

01

連結実績および連結業績予想
ハイライト



- 2023年度は、顧客本位の商品開発や販売サービスの強化等に注力した結果、23区、ペットパラダイスなどの既存主力ブランド事業が好調に推移。また、UNFILOなどの新規ブランド事業も大きく伸長。「クリック&トライ」サービスを導入したOMOストアの運営力が一層向上したことも寄与し、売上高は前年同期比で7.7%増加。
- グローバル事業構造改革の成果や、商品サプライチェーン効率化の進捗などにより、営業利益率は前年同期比で2.9%上昇(3.0%→5.9%)。
- この結果、2023年度においては、増収および全ての段階利益での大幅な増益を実現した。なお、営業利益は2008年度以降で最高益の113億円となった。



- 2024年度の連結売上高は、国内事業が堅調に推移するとともに、海外事業もヨーロッパ地域を中心に改善が見込まれるため、前年同期比で+104億円の2,000億円を予想する。
- 定価販売の徹底や適切な在庫管理などにより、売上総利益率のさらなる向上（55.8% → 56.1%）を見込む。
- 販管費率は、人的資本や広告宣伝への積極的な投資を行う一方で、店舗運営の効率化の徹底などにより、前年同期比横ばい（49.8%）を見込む。
- 以上の結果、2024年度の営業利益は前年同期比+12億円の125億円、経常利益は同+19億円の120億円、当期純利益は同+14億円の80億円を予想する。
なお、2024年度の営業利益は、2008年度以降の最高益を2期連続で更新する見通し。

■ 配当方針の変更

株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要施策の一つと位置づけ、配当性向の目安を従来の「35%以上」から「40%以上」に引き上げ、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施。

■ 2024年度の配当予想

2024年度の期末配当については、当期純利益が大幅に増益する見通しであることから、2023年度実績から4円増配の1株当たり24円を予想。

	2024年度 予想	2023年度 実績
1株当たり配当金	24円	20円
配当金総額（百万円）	3,257	2,714
当期純利益（百万円）	8,000	6,611
配当性向	40.7%	41.1%



02

2023年度 連結実績

2023年度 連結実績

- 売上高は、前期比136億円増（+7.7%）の1,896億円。
- 営業利益は、同60億円増（2.2倍）の113億円。
- 当期純利益は、同36億円増（2.2倍）の66億円。
- EBITDAは、同57億円増（1.5倍）の161億円。

(百万円)		通期実績						
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	売上高	189,629	176,072	+13,557	+7.7%	189,211	+418	+0.2%
2	売上総利益	105,782	96,751	+9,031	+9.3%	105,952	△ 170	△ 0.2%
	(対売上高比率)	(55.8%)	(54.9%)		(+0.9%)	(56.0%)		(△ 0.2%)
3	販管費	94,522	91,537	+2,985	+3.3%	94,930	△ 408	△ 0.4%
	(対売上高比率)	(49.8%)	(52.0%)		(△ 2.2%)	(50.2%)		(△ 0.4%)
4	営業利益	11,260	5,214	+6,046	+116.0%	11,022	+238	+2.2%
	(対売上高比率)	(5.9%)	(3.0%)		(+2.9%)	(5.8%)		(+0.1%)
5	経常利益	10,126	5,319	+4,807	+90.4%	10,012	+114	+1.1%
	(対売上高比率)	(5.3%)	(3.0%)		(+2.3%)	(5.3%)		(+0.0%)
6	当期純利益	6,611	3,061	+3,550	+116.0%	5,911	+700	+11.8%
	(対売上高比率)	(3.5%)	(1.7%)		(+1.8%)	(3.1%)		(+0.4%)
7	EBITDA[※]	16,052	10,373	+5,679	+54.7%	16,100	△ 48	△ 0.3%
	(対売上高比率)	(8.5%)	(5.9%)		(+2.6%)	(8.5%)		(+0.0%)

※ EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

- 国内については、アパレルセグメント、ライフスタイルセグメントともに増収、2桁増益を達成。
- 海外については、2億円の損失が残るものの、営業損益は9億円改善。

(百万円)

			通期実績						
			2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	アパレル	売上高	140,267	129,525	+10,742	+8.3%	139,692	+575	+0.4%
		営業利益	9,679	5,000	+4,679	+93.6%	9,753	△74	△0.8%
2	ライフスタイル	売上高	39,791	37,926	+1,865	+4.9%	39,633	+158	+0.4%
		営業利益	3,480	2,741	+739	+27.0%	3,374	+106	+3.1%
3	国内合計	売上高	180,058	167,451	+12,607	+7.5%	179,325	+733	+0.4%
		営業利益	13,159	7,741	+5,418	+70.0%	13,127	+32	+0.2%
4	海外合計	売上高	19,927	17,250	+2,677	+15.5%	20,348	△421	△2.1%
		営業利益	△211	△1,090	+879	↗	△315	+104	↗
5	連結合計	売上高	189,629	176,072	+13,557	+7.7%	189,211	+418	+0.2%
		営業利益	11,260	5,214	+6,046	+116.0%	11,022	+238	+2.2%

※内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

iCB



03

2024年度 連結業績予想

- 売上総利益率は、2023年度比0.3%向上し、56.1%と予想。
- 販管費率は、2023年度と同水準の、49.8%と予想。
- EBITDAは、2023年度から16億円増加し、177億円と予想。

(百万円)		通期予想			
		2024年度	2023年度	増減額	増減率
1	売上高	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
2	売上総利益 (対売上高比率)	112,100 (56.1%)	105,782 (55.8%)	+6,318	+6.0% (+0.3%)
3	販管費 (対売上高比率)	99,600 (49.8%)	94,522 (49.8%)	+5,078	+5.4% (+0.0%)
4	営業利益 (対売上高比率)	12,500 (6.3%)	11,260 (5.9%)	+1,240	+11.0% (+0.4%)
5	経常利益 (対売上高比率)	12,000 (6.0%)	10,126 (5.3%)	+1,874	+18.5% (+0.7%)
6	当期純利益 (対売上高比率)	8,000 (4.0%)	6,611 (3.5%)	+1,389	+21.0% (+0.5%)
7	EBITDA [※] (対売上高比率)	17,700 (8.9%)	16,052 (8.5%)	+1,648	+10.3% (+0.4%)

※ EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

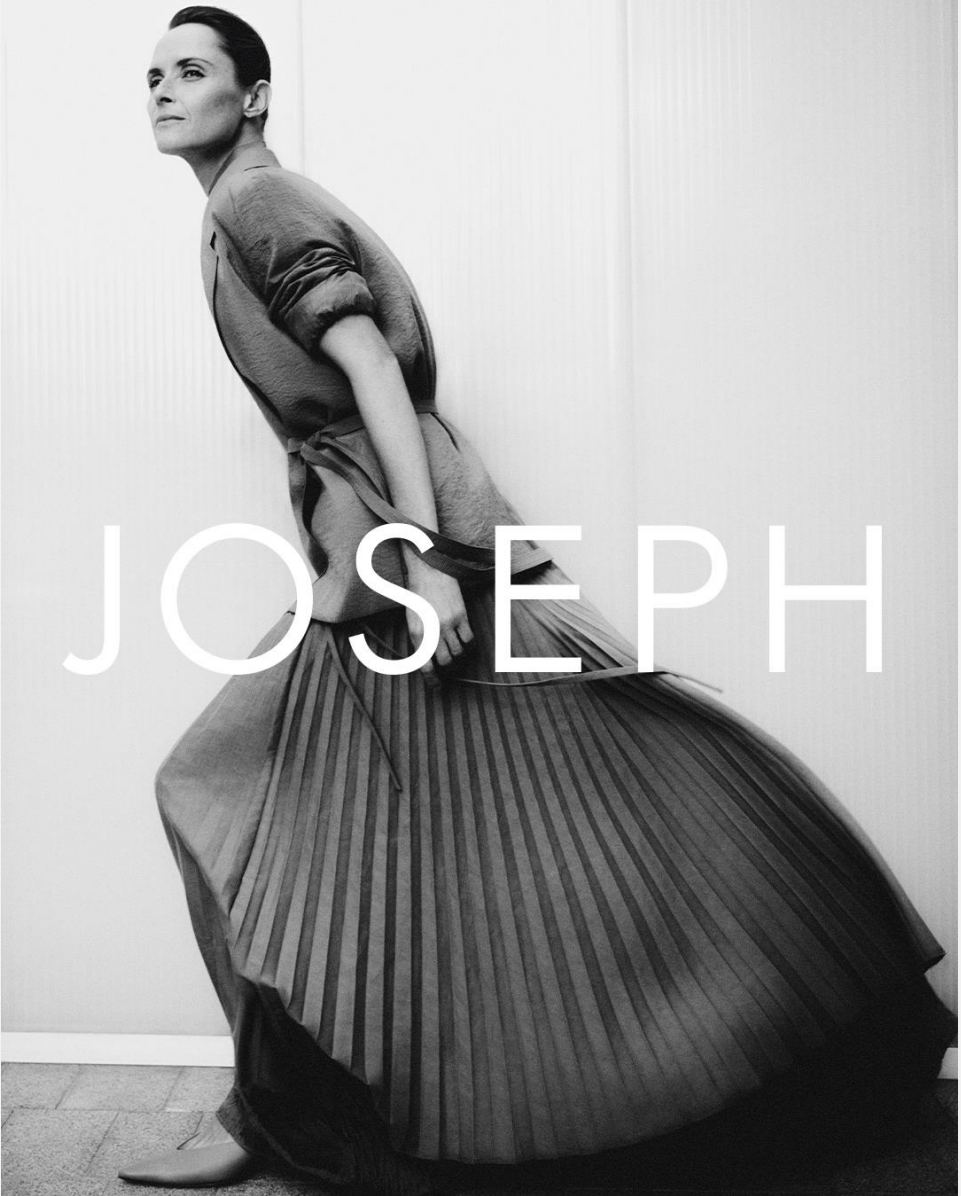
2024年度 セグメント別業績予想

- 国内については、売上高は103億円増（+5.7%）、営業利益は13億円増（+9.5%）の増収増益を予想。
- 海外については、売上高は20億円増（+10.2%）、営業損益は3億円の黒字化（+5億円）を予想。

(百万円)

		通期予想			
		2024年度	2023年度	増減額	増減率
1	国内合計				
	売上高	190,332	180,058	+10,274	+5.7%
	営業利益	14,410	13,159	+1,251	+9.5%
2	海外合計				
	売上高	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
	営業利益	321	△ 211	+532	↗
3	連結合計				
	売上高	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
	営業利益	12,500	11,260	+1,240	+11.0%

※内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む



JOSEPH

04

財務状況

- EBITDAは、前期比57億円増の161億円に拡大。
- 純資産は、少数株主持分の減少により前期末から微減。
- 自己資本比率は、前期末から0.4ポイント低下の46.6%。
- 流動比率は、前期末から0.5ポイント上昇の117.7%。

EBITDA

(百万円)

2023年度	2022年度	増減	増減率
16,052	10,373	+5,679	+54.7%

自己資本比率

2023年度末	2022年度末	増減
46.6%	47.0%	△ 0.4%

純資産

(百万円)

2023年度末	2022年度末	増減	増減率
84,995	85,073	△ 78	△ 0.1%

流動比率

2023年度末	2022年度末	増減
117.7%	117.2%	+0.5%

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益、および棚卸資産の増加などにより40億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得などにより43億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加および配当金の支払い等により3億円の収入。

■ 設備投資

- 設備投資額は、前期から3億円減少の46億円。
- DX関連やOM0関連など投資を厳選し、効率的に実施。

(百万円)

2023年度	2022年度	増減	増減率
4,613	4,921	△ 308	△ 6.3%

■ 減価償却費

- 減価償却費は、前期から4億円減少の40億円。

(百万円)

2023年度	2022年度	増減	増減率
3,978	4,366	△ 388	△ 8.9%



NAVE

05

補足資料

OMOサービス「クリック&トライ」 ブランド複合型店舗「オンワード・クローゼットセレクト」

■ 「クリック&トライ」サービス

- ・ 導入店舗数は前期末から57店舗増加し397店舗、導入率は16%上昇し58%。
- ・ 同サービス導入店舗(既存)の2023年度売上高は、コロナ前の2019年を16%上回り、未導入店舗を25%上回る。

■ 「オンワード・クローゼットセレクト」

- ・ 「クリック&トライ」と併せ、ブランド複合型店舗「オンワード・クローゼットセレクト (OCS)」の展開を拡大。
- ・ OMOサービスを実装し、オンワード樺山の複数ブランドを横断的に取り揃え、ご提供。2023年度売上高の前期比は、OCS以外の既存店舗を22%上回る。

■ クリック&トライ導入店舗数・予約件数の推移

	2023年度末	2022年度末	増減	増減率
店舗数	397	340	+57	-
導入率	58%	42%	+16%	-
予約件数 (千件)	126	94	+32	+34%

■ オンワード・クローゼットセレクト売上高比較

	2023年度		
	百貨店流通	SC流通	計
オンワード・クローゼットセレクト (OCS)	122%	154%	130%
OCS除く店舗	110%	101%	108%
差	+12%	+53%	+22%

※廃止ブランドを除く2022年度対比

■ クリック&トライ導入店舗・未導入店舗の売上高比較

2019年度比	2023年度	2022年度
導入店舗	116%	100%
未導入店舗	91%	81%
差	+25%	+19%



オンワードクローゼットセレクト 新都心コクーン

2023年度 販路別売上高

- リアル販路（百貨店+SC他）は7%増収。
- ECは7%増収。EC化率は30%、自社EC比率は86%と高水準を維持。

(百万円)

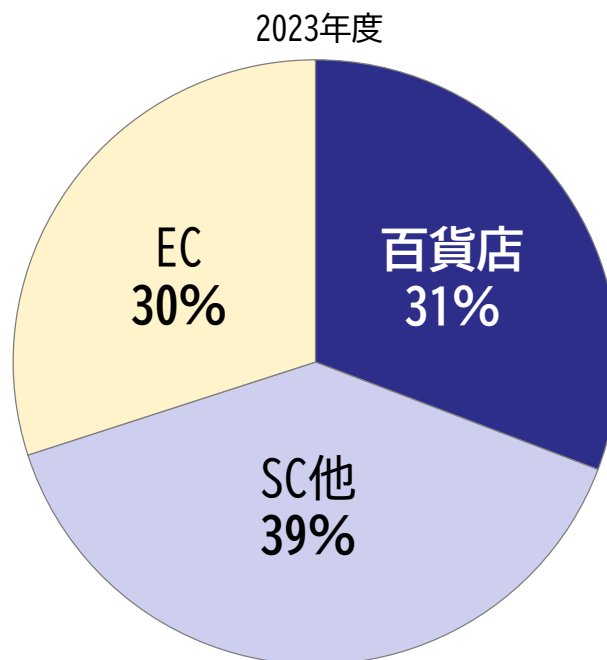
	①オンワード樺山			②国内EC対象事業会社8社 [※]			合計 (①+②)		
	売上高	構成比	前期比	売上高	構成比	前期比	売上高	構成比	前期比
百貨店	41,517	37.9%	+4.2%	7,496	14.8%	△ 23.5%	49,013	30.6%	△ 1.2%
SC他	36,616	33.4%	+13.0%	26,697	52.8%	+18.1%	63,313	39.6%	+15.1%
リアル販路計	78,133	71.4%	+8.2%	34,193	67.6%	+5.5%	112,326	70.2%	+7.3%
自社EC	27,332	25.0%	+8.6%	13,634	27.0%	+2.4%	40,966	25.6%	+6.4%
自社EC比率		87.2%			83.3%			85.9%	
他社ECモール	4,026	3.7%	+8.9%	2,724	5.4%	+4.6%	6,750	4.2%	+7.1%
EC計	31,358	28.6%	+8.6%	16,358	32.4%	+2.7%	47,716	29.8%	+6.5%
売上高計	109,491	100.0%	+8.3%	50,551	100.0%	+4.6%	160,042	100.0%	+7.1%

※Eコマースを運営している以下の国内事業会社8社

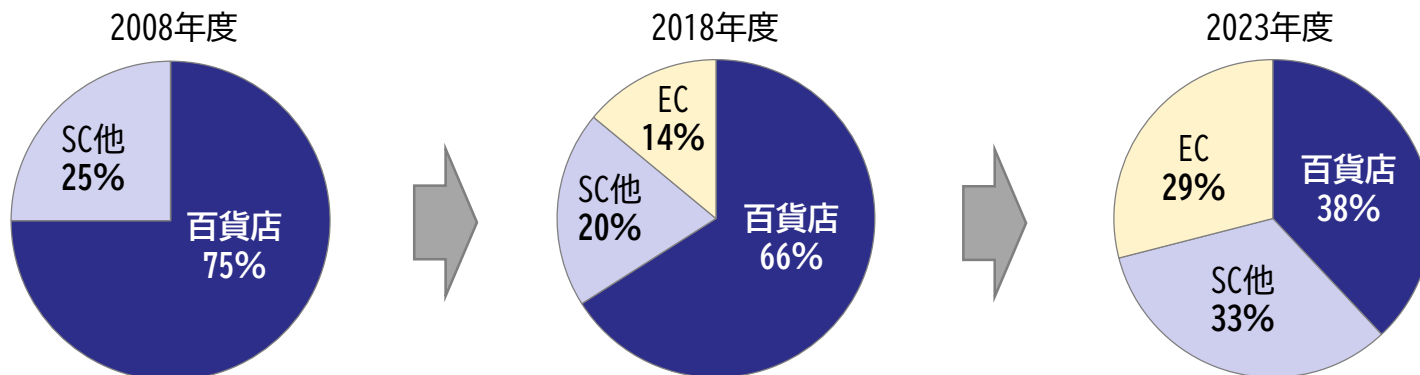
アイランド、ティアクラッセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY

■ オンワードグループ国内9社計

(オンワード樫山、アイランド、ティアクラッセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY)

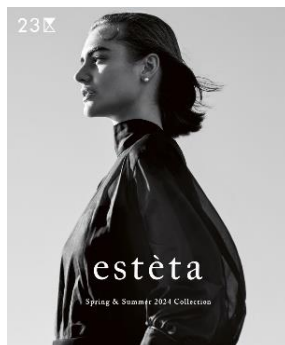


(参考) 「オンワード樫山」の販路別売上高構成比の推移



23区 【 オンワード樫山 】

オンワード樫山の中核ブランド『23区』が引き続き増収。ブランドデビュー30周年を記念したプロモーションによる販促を強化。ハイグレードラインの派生ブランド『estèta(エステータ)』を新たに展開。



2023年度売上高
(前期比)

+15.5%

23区

UNFILO 【 オンワード樫山 】

「機能美」を謳った独自性の高い商品開発や、ヒット商品ジョグパンの広告動画配信などのデジタル販促の効果で、引き続き拡大路線。OMO型店舗での取り扱いも拡大。



2023年度売上高
(前期比)

1.9倍

UNFILO

チャコット・コスメティクス 【 チャコット 】

クラシックバレエの舞台メイクとして愛用されてきたコスメティクスを、2021年、普段使いにも対応したアイテム構成にリニューアル。2023年度は前期から1.35倍に拡大。



2023年度売上高
(前期比)

+34.7%

Chacott
COSMETICS

ペットパラダイス 【 クリエイティブヨーコ 】

新規出店施策が奏功し、2023年出店店舗はいずれも計画を上回る好調な推移。またカートやリード、雑貨などの新規商品のヒットも増収に貢献。



2023年度売上高
(前期比)

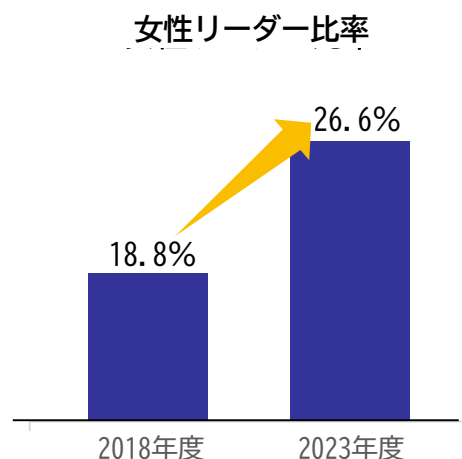
+17.2%

PET PARADISE

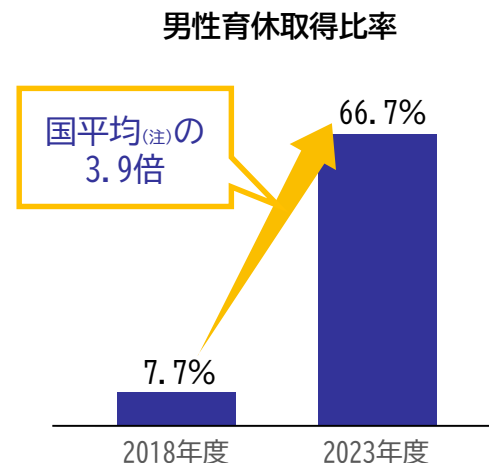
■ ダイバーシティや働き方デザインへの取り組みを推進

- ダイバーシティ推進の一環として女性リーダーの育成を強化。2023年度の女性リーダー比率は、2018年度18.8%から26.6%に上昇。
- 「働き方デザイン」の推進により、2023年度の1ヶ月の平均残業時間は2018年度比40%減、年間の休日取得日数は9.4日増加を実現。
- 「仕事と育児の両立支援ガイドブック」の制定により育児休暇取得を推進。2023年度男性育休取得率は国平均の3.9倍となる66.7%を達成。

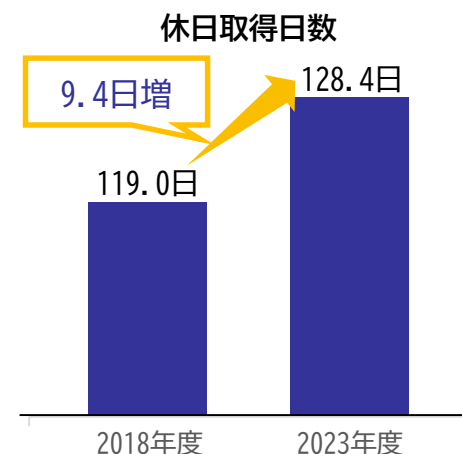
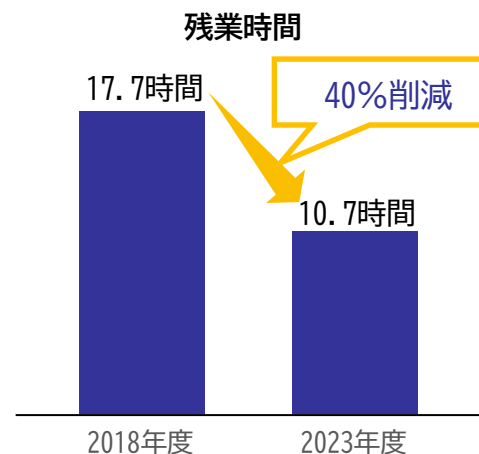
※「働き方デザイン」がスタートする前年度(2018年度)と2023年度の比較



※女性リーダー=オンワード樫山原籍の総合職の係長・課長・部長



(注) 2022年度の国平均「男性 育休取得率」は17.13%



■ オンワード・グリーン・キャンペーン

衣料品のリサイクル・リユースによる循環システムを目指す「オンワード・グリーン・キャンペーン」。

2023年度は年間生産数の9.2%を回収、2009年のスタートからの累計では782万点を回収。回収した衣料品は「オンワード・リユースパーク吉祥寺」での再販や、毛布や軍手にリサイクルして被災地支援などに活用。

■ 回収衣料のアップサイクル・アクション

回収した衣料品を新たに生まれ変わらせる「アップサイクル・アクション」を、2023年度よりスタート。

当社社員がクリエイターとなり、回収したデニムを活用したアップサイクル品約150点を制作。2024年3月には制作した商品の展示・販売イベントを実施。



オンワード・リユースパーク吉祥寺（左：外観 右：店内）

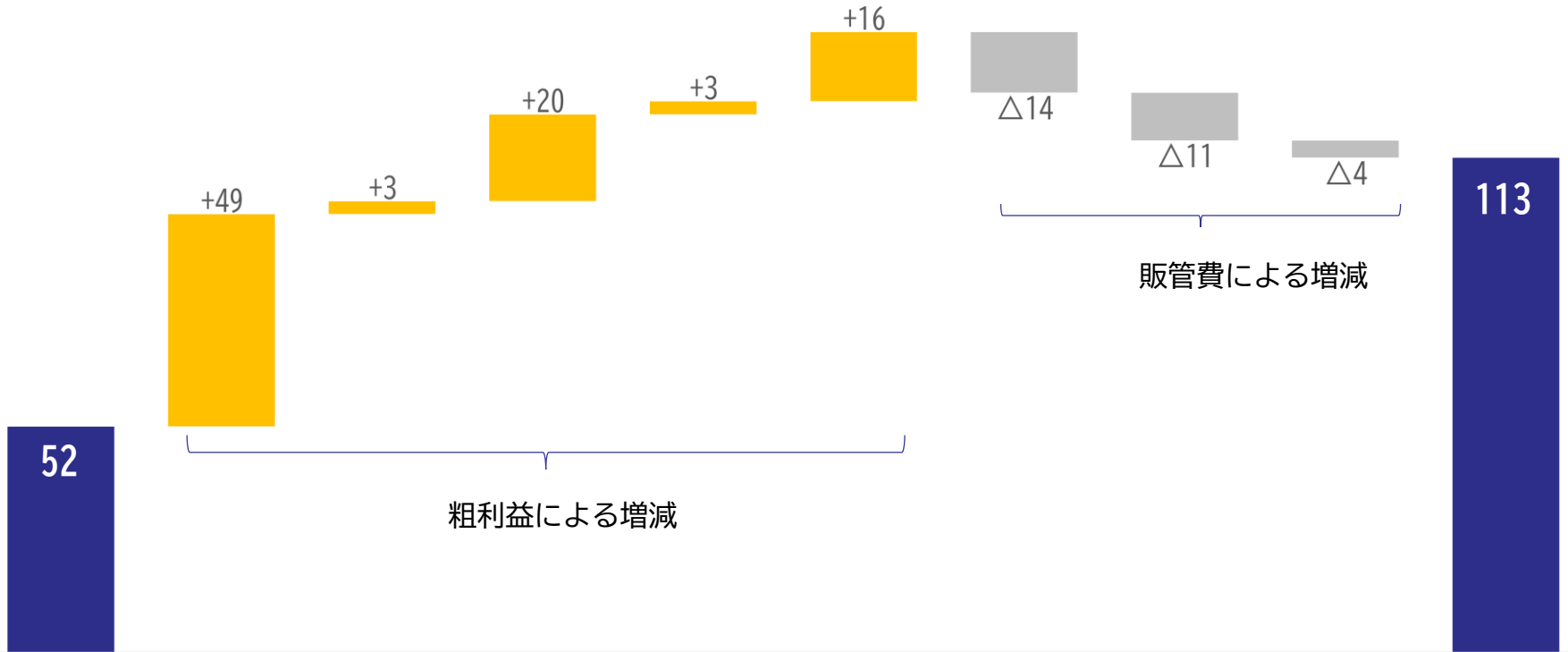
• Upcycle Action •



アップサイクル品

2023年度 営業利益増減分析（前期比）

（億円）



2022年度
営業利益

オンワード樫山の
増収による
粗利益増

オンワード樫山の
粗利益率
改善による
粗利益増

その他
国内事業の
増収に伴う
粗利益増

その他
国内事業の
粗利益率
改善による
粗利益増

海外事業の
粗利益増

店舗賃借料等
売上連動経費の
増加による
営業利益減

販促強化に伴う
広告宣伝費の
増加

人件費の増加
による
営業利益減

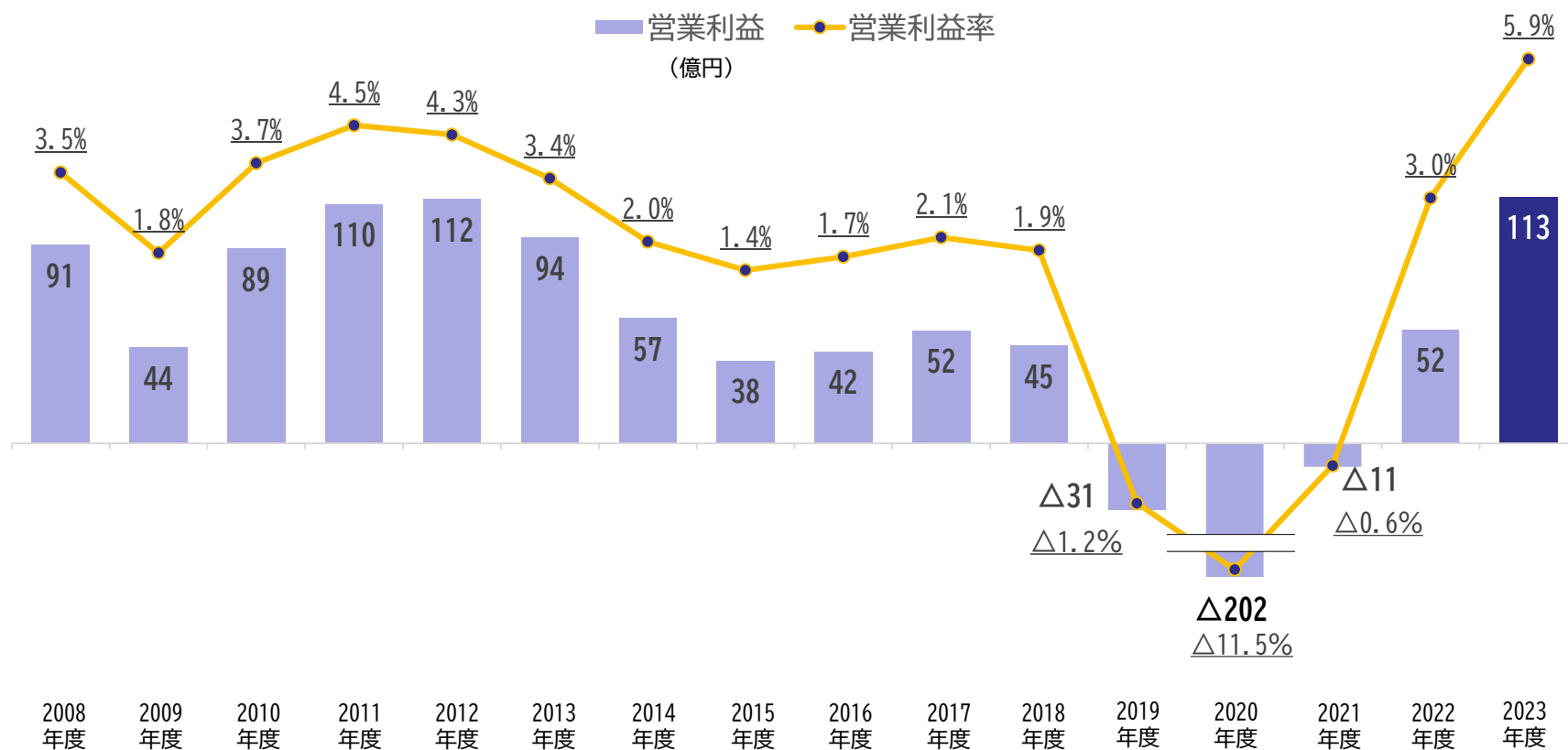
2023年度
営業利益

粗利益による増減

販管費による増減

営業利益および営業利益率の推移

- 2023年度の営業利益は、2008年度以降で最高益となる113億円。
- 2023年度の営業利益率についても、2008年度以降で最高の5.9%。



※ 2020年度以降は新収益認識基準

2023年度 事業会社別実績

(百万円)

		通期							
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率	
1	オンワード樺山+HD	売上高	109,491	101,109	+8,382	+8.3%	108,721	+770	+0.7%
		営業利益	8,189	4,524	+3,665	+81.0%	8,180	+9	+0.1%
2	オンワード コーポレートデザイン	売上高	16,332	14,503	+1,829	+12.6%	16,549	△ 217	△ 1.3%
		営業利益	1,482	1,007	+475	+47.2%	1,513	△ 31	△ 2.0%
3	アイランド	売上高	5,716	6,285	△ 569	△ 9.1%	5,966	△ 250	△ 4.2%
		営業利益	△ 83	80	△ 163	↘	67	△ 150	↘
4	国内アパレル計	売上高	140,267	129,525	+10,742	+8.3%	139,692	+575	+0.4%
		営業利益	9,679	5,000	+4,679	+93.6%	9,753	△ 74	△ 0.8%
5	チャコット	売上高	9,613	8,849	+764	+8.6%	9,586	+27	+0.3%
		営業利益	649	342	+307	+89.8%	654	△ 5	△ 0.8%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	6,486	5,801	+685	+11.8%	6,391	+95	+1.5%
		営業利益	660	419	+241	+57.5%	649	+11	+1.7%
7	大和	売上高	21,037	20,629	+408	+2.0%	20,889	+148	+0.7%
		営業利益	1,728	1,489	+239	+16.1%	1,729	△ 1	△ 0.1%
8	国内ライフスタイル計	売上高	39,791	37,926	+1,865	+4.9%	39,633	+158	+0.4%
		営業利益	3,480	2,741	+739	+27.0%	3,374	+106	+3.1%
9	国内小計	売上高	180,058	167,451	+12,607	+7.5%	179,325	+733	+0.4%
		営業利益	13,159	7,741	+5,418	+70.0%	13,127	+32	+0.2%
10	ヨーロッパ計	売上高	11,355	9,960	+1,395	+14.0%	11,497	△ 142	△ 1.2%
		営業利益	156	△ 136	+292	↗	76	+80	+105.3%
11	アメリカ計	売上高	1,890	1,636	+254	+15.5%	2,036	△ 146	△ 7.2%
		営業利益	△ 414	△ 576	+162	↗	△ 321	△ 93	↘
12	アジア計	売上高	6,682	5,654	+1,028	+18.2%	6,815	△ 133	△ 2.0%
		営業利益	47	△ 378	+425	↗	△ 70	+117	↗
13	海外小計	売上高	19,927	17,250	+2,677	+15.5%	20,348	△ 421	△ 2.1%
		営業利益	△ 211	△ 1,090	+879	↗	△ 315	+104	↗
14	連結合計	売上高	189,629	176,072	+13,557	+7.7%	189,211	+418	+0.2%
		営業利益	11,260	5,214	+6,046	+116.0%	11,022	+238	+2.2%

※内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2024年度 連結業績予想

(百万円)

	上期予想				下期予想				通期予想			
	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率
1 売上高	94,900	90,411	+4,489	+5.0%	105,100	99,218	+5,882	+5.9%	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
2 売上総利益 (対売上高比率)	53,900 (56.8%)	51,152 (56.6%)	+2,748	+5.4% (+0.2%)	58,200 (55.4%)	54,630 (55.1%)	+3,570	+6.5% (+0.3%)	112,100 (56.1%)	105,782 (55.8%)	+6,318	+6.0% (+0.3%)
3 販管費 (対売上高比率)	48,400 (51.0%)	46,130 (51.0%)	+2,270	+4.9% (+0.0%)	51,200 (48.7%)	48,392 (48.8%)	+2,808	+5.8% (△ 0.1%)	99,600 (49.8%)	94,522 (49.8%)	+5,078	+5.4% (+0.0%)
4 営業利益 (対売上高比率)	5,500 (5.8%)	5,022 (5.6%)	+478	+9.5% (+0.2%)	7,000 (6.7%)	6,238 (6.3%)	+762	+12.2% (+0.4%)	12,500 (6.3%)	11,260 (5.9%)	+1,240	+11.0% (+0.4%)
5 経常利益 (対売上高比率)	5,300 (5.6%)	4,412 (4.9%)	+888	+20.1% (+0.7%)	6,700 (6.4%)	5,714 (5.8%)	+986	+17.3% (+0.6%)	12,000 (6.0%)	10,126 (5.3%)	+1,874	+18.5% (+0.7%)
6 当期純利益 (対売上高比率)	3,800 (4.0%)	2,862 (3.2%)	+938	+32.8% (+0.8%)	4,200 (4.0%)	3,749 (3.8%)	+451	+12.0% (+0.2%)	8,000 (4.0%)	6,611 (3.5%)	+1,389	+21.0% (+0.5%)
7 EBITDA [※] (対売上高比率)	8,000 (8.4%)	7,390 (8.2%)	+610	+8.3% (+0.2%)	9,700 (9.2%)	8,662 (8.7%)	+1,038	+12.0% (+0.5%)	17,700 (8.9%)	16,052 (8.5%)	+1,648	+10.3% (+0.4%)

※ EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2024年度 セグメント別業績予想

(百万円)

		上期予想				下期予想				通期予想				
		2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	
1	国内合計	売上高	90,934	86,311	+4,623	+5.4%	99,398	93,747	+5,651	+6.0%	190,332	180,058	+10,274	+5.7%
	営業利益	6,402	5,990	+412	+6.9%	8,008	7,169	+839	+11.7%	14,410	13,159	+1,251	+9.5%	
2	海外合計	売上高	10,158	9,002	+1,156	+12.8%	11,808	10,925	+883	+8.1%	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
	営業利益	△ 78	△ 640	+562	↗	399	429	△ 30	△ 7.0%	321	△ 211	+532	↗	
3	連結合計	売上高	94,900	90,411	+4,489	+5.0%	105,100	99,218	+5,882	+5.9%	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
	営業利益	5,500	5,022	+478	+9.5%	7,000	6,238	+762	+12.2%	12,500	11,260	+1,240	+11.0%	

※内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

※従来、「アパレル国内」、「ライフスタイル国内」、「海外合計」に区分していたセグメントを、2024年度より「国内合計」、「海外合計」に区分することとしました。
 マーケットの多様化が進行し、アパレルとライフスタイルの境目がなくなりつつある中、両セグメントを一体として、より実態に合わせた経営管理を行うことを目的としています。

2024年度 事業会社別業績予想

(百万円)

		上期予想				下期予想				通期予想				
		2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	
1	オンワード樺山+HD	売上高	54,144	51,566	+2,578	+5.0%	60,822	57,925	+2,897	+5.0%	114,966	109,491	+5,475	+5.0%
		営業利益	3,412	3,210	+202	+6.3%	5,329	4,979	+350	+7.0%	8,741	8,189	+552	+6.7%
2	オンワード	売上高	8,634	8,209	+425	+5.2%	9,712	8,979	+733	+8.2%	18,346	17,188	+1,158	+6.7%
		コーポレートデザイン	営業利益	858	825	+33	+4.0%	735	660	+75	+11.4%	1,593	1,485	+108
3	アイランド	売上高	2,922	2,844	+78	+2.7%	3,080	2,872	+208	+7.2%	6,002	5,716	+286	+5.0%
		営業利益	57	△ 23	+80	↗	42	△ 60	+102	↗	99	△ 83	+182	↗
4	チャコット	売上高	5,460	5,059	+401	+7.9%	5,040	4,554	+486	+10.7%	10,500	9,613	+887	+9.2%
		営業利益	591	565	+26	+4.6%	128	84	+44	+52.4%	719	649	+70	+10.8%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	3,201	2,969	+232	+7.8%	3,701	3,517	+184	+5.2%	6,902	6,486	+416	+6.4%
		営業利益	283	235	+48	+20.4%	423	425	△ 2	△ 0.5%	706	660	+46	+7.0%
6	大和	売上高	11,429	10,592	+837	+7.9%	11,154	10,445	+709	+6.8%	22,583	21,037	+1,546	+7.3%
		営業利益	843	999	△ 156	△ 15.6%	913	729	+184	+25.2%	1,756	1,728	+28	+1.6%
7	国内小計	売上高	90,934	86,311	+4,623	+5.4%	99,398	93,747	+5,651	+6.0%	190,332	180,058	+10,274	+5.7%
		営業利益	6,402	5,990	+412	+6.9%	8,008	7,169	+839	+11.7%	14,410	13,159	+1,251	+9.5%
8	ヨーロッパ計	売上高	5,632	4,832	+800	+16.6%	6,867	6,523	+344	+5.3%	12,499	11,355	+1,144	+10.1%
		営業利益	4	△ 449	+453	↗	362	605	△ 243	△ 40.2%	366	156	+210	+134.6%
9	アメリカ計	売上高	1,179	936	+243	+26.0%	1,151	954	+197	+20.6%	2,330	1,890	+440	+23.3%
		営業利益	△ 126	△ 231	+105	↗	△ 19	△ 183	+164	↗	△ 145	△ 414	+269	↗
10	アジア計	売上高	3,347	3,234	+113	+3.5%	3,790	3,448	+342	+9.9%	7,137	6,682	+455	+6.8%
		営業利益	44	40	+4	+10.0%	56	7	+49	+700.0%	100	47	+53	+112.8%
11	海外小計	売上高	10,158	9,002	+1,156	+12.8%	11,808	10,925	+883	+8.1%	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
		営業利益	△ 78	△ 640	+562	↗	399	429	△ 30	△ 7.0%	321	△ 211	+532	↗
12	連結合計	売上高	94,900	90,411	+4,489	+5.0%	105,100	99,218	+5,882	+5.9%	200,000	189,629	+10,371	+5.5%
		営業利益	5,500	5,022	+478	+9.5%	7,000	6,238	+762	+12.2%	12,500	11,260	+1,240	+11.0%

※内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む。

※オンワードコーポレートデザインの前年値には、旧オンワード商事に加え、旧オンワードクリエイティブセンターの数値を含む。

2023年度 連結販管費 / 当期純利益影響項目

(百万円)

	2023年度	2022年度	増減率
1 人件費	35,387	35,036	+1.0%
2 賃借料	25,336	24,499	+3.4%
3 運賃運搬費	6,448	6,238	+3.4%
4 広告宣伝費	6,607	5,505	+20.0%
5 減価償却費	3,194	3,595	△ 11.2%
6 その他	17,550	16,664	+5.3%
7 販管費計	94,522	91,537	+3.3%

【当期純利益影響項目】

- 受取利息・受取配当金等による営業外収益5億円
- 為替差損、支払利息等により営業外費用は16億円
- 投資有価証券売却益等による特別利益4億円
- 減損損失等による特別損失44億円
- 法人税等は、業績向上により将来課税所得の増加が見込まれ、繰延税金資産の計上に伴い、税負担率が低下。
- 以上の結果、当期純利益は66億円となった。

(百万円)

	2023年度	2022年度	増減率
8 営業利益	11,260	5,214	+116.0%
9 営業外収益	494	1,380	△ 64.2%
10 受取利息・配当金	283	233	+21.5%
11 為替差益		789	-
12 助成金収入		134	-
13 その他	211	220	△ 4.1%
14 営業外費用	1,628	1,274	+27.8%
15 支払利息	896	363	+146.8%
16 為替差損	109		-
17 持分法による投資損失	249	46	+441.3%
18 その他	373	863	△ 56.8%
19 営業外損益計	△1,133	106	-
20 経常利益	10,126	5,319	+90.4%
21 特別利益	433	1,878	△ 76.9%
22 関係会社株式売却益		1,300	-
23 投資有価証券売却益	363	527	△ 31.1%
24 その他	69	50	+38.0%
25 特別損失	4,395	3,388	+29.7%
26 減損損失	3,586	2,906	+23.4%
27 その他	809	482	+67.8%
28 特別損益	△3,962	△1,510	-
29 税前利益	6,164	3,809	+61.8%
30 法人税等	△713	698	-
31 少数株主損益	266	49	+442.9%
32 当期純利益	6,611	3,061	+115.9%

2023年度 連結貸借対照表

(億円)

	2023年度末	2022年度末	前期末比±	増減要因
1 資産合計	1,713	1,591	+122	
2 流動資産	734	622	+112	
3 現金及び預金	141	138	+3	
4 売掛金	159	139	+20	売上高の増加に伴う
5 棚卸資産	389	307	+82	積極的な仕入による増加
6 固定資産	979	969	+10	
7 有形固定資産	504	531	△ 27	固定資産の減損計上による減少
8 無形固定資産	88	91	△ 3	
9 投資その他の資産	386	347	+39	政策保有株式縮減の一方で関連会社株式を新規取得 繰延税金資産の増加
10 負債合計	863	741	+122	
11 買掛金	226	214	+12	
12 借入金	376	272	+104	新規借入による増加
13 その他	261	255	+6	
14 純資産合計	849	850	△ 1	
15 自己資本比率	46.6%	47.0%	△ 0.4%	
16 流動比率	117.7%	117.2%	+0.5%	

2023年度 グループ別実績

(百万円)

		通期実績				
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	
オンワード 樫山 +HD	1	売上高	109,491	101,109	+8,382	+8.3%
	2	売上総利益	65,428	60,068	+5,360	+8.9%
		(売上比)	(59.8%)	(59.4%)		(+0.3%)
	3	販管費	57,239	55,544	+1,695	+3.1%
(売上比)		(52.3%)	(54.9%)		(Δ 2.7%)	
4	営業利益	8,189	4,524	+3,665	+81.0%	
	(売上比)	(7.5%)	(4.5%)		(+3.0%)	
国内小計 (オンワード樫山+HD除く)	5	売上高	70,567	66,342	+4,225	+6.4%
	6	売上総利益	35,076	32,516	+2,560	+7.9%
		(売上比)	(49.7%)	(49.0%)		(+0.7%)
	7	販管費	30,106	29,299	+807	+2.8%
(売上比)		(42.7%)	(44.2%)		(Δ 1.5%)	
8	営業利益	4,970	3,217	+1,753	+54.5%	
	(売上比)	(7.0%)	(4.8%)		(+2.2%)	
海外小計	9	売上高	19,927	17,250	+2,677	+15.5%
	10	売上総利益	9,158	7,552	+1,606	+21.3%
		(売上比)	(46.0%)	(43.8%)		(+2.2%)
	11	販管費	9,369	8,642	+727	+8.4%
(売上比)		(47.0%)	(50.1%)		(Δ 3.1%)	
12	営業利益	△ 211	△ 1,090	+879	↗	
	(売上比)	-	-			



ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。